

編集後記

この夏は、各地で記録的な暑さとなりました。台風、大雨など被害にあわれました地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。9月に入ってもなお残暑が続いていましたが、これをお届けするころには、少し秋らしくなっているのでしょうか。

さて、第14巻第2号では、原著論文2本、研究資料1本、総説1本をお届けしました。今号も、医療通説、eヘルスリテラシー、シェアード・ディジションメイキングなど、ヘルスコミュニケーションのさまざまな領域から、近年関心の高まっている概念、テーマを扱った論文が集まっています。

また、前号から続いております企画「ヘルスコミュニケーションを学べる大学・研究機関紹介」として、昨年度のヘルスコミュニケーションウィークの開催校である金城学院大学よりご紹介をいただきました。ぜひ合わせてご一読いただければと思います。講座や分野名に必ずしも「コミュニケーション」と名前はついていなくても、関連する研究や授業をおもちの先生がいらっしゃる大学・研究機関は、まだまだたくさんあるのではないかと思います。この企画は今後も継続してまいります。ヘルスコミュニケーションという学問領域の認知の拡大とネットワークづくりにもつながればと思っておりますので、ご関係の大学・研究機関のご紹介をお寄せいただけましたら幸いです。

今号も査読をお引き受けいただきました先生がたには、お忙しい中ご協力いただき、心より感謝申し上げます。次号に向けて、福島でのヘルスコミュニケーションウィークで発表された皆さんの一般演題からの投稿論文もお待ちしております。皆さまと一緒にさらに充実した学会誌を作っていきたいと思っておりますので、引き続きお力添えいただけますよう、よろしく願いいたします。

編集委員長 石川ひろの

日本ヘルスコミュニケーション学会誌-第14巻第2号
Health Communication Research Vol.14, No.2

2023年10月1日発行

日本ヘルスコミュニケーション学会誌編集委員会(2022-2023)

編集委員長

石川 ひろの (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

編集委員

大野 直子 (順天堂大学 国際教養学部)

奥原 剛 (東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学)

榊原 圭子 (東洋大学社会学部社会心理学科)

島崎 崇史 (東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学講座)

杉本 なおみ (慶應義塾大学看護医療学部)

高永 茂 (広島大学大学院人間社会科学研究科)

八巻 知香子 (国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部)

発行者 日本ヘルスコミュニケーション学会

<http://healthcommunication.jp/>
